



YOKOSUKA NEWS RELEASE

平成 24 年（2012 年）7 月 19 日

報 道 機 関 様

横 須 賀 市 都 市 部 長

県立保健福祉大学と市の協働で谷戸地域に居住する高齢者の生活支援を始め ます（県立保健福祉大学長と市長共同記者会見）（2012 年 7 月 19 日）

～空き家にシェアハウスした学生が高齢者の買い物などをサポート～

本市特有の谷戸地域には、階段上部に多くの高齢者が住んでいます。

谷戸は地形の特性上、住宅に車が横付けできないため、買い物をはじめとする日常生活が不便であることから、空き家が多くなっています。

このたび、本市は県立保健福祉大学と協働で、空き家や高齢者の多い「汐入町 5 丁目 2 区」をモデル地区として、空き家を有効活用しながら高齢者の生活支援を行うこととしました。

- 1 居住開始日 平成 24 年 10 月 1 日（予定）
- 2 居住エリア 汐入町 5 丁目 2 区
- 3 居住人数 1 棟の空き家に 2 人で居住（シェアハウスの形態）
- 4 市の支援策
 - (1) 空き家を提供いただいた大家さん向け
リフォーム費用の 3 分の 2 を助成（上限 100 万円）
 - (2) 学生向け
1 棟当たり月 1 万円の家賃補助
- 5 期待される効果
 - (1) 高齢者の生活環境の改善
 - (2) 学生居住による地域の活性化
 - (3) 学生への地域福祉実践の場の提供
- 6 今後の展開
 - (1) この取り組みの効果を見ながら、本モデル地区の他の場所や、他の谷戸地域にも導入を検討していきます。
 - (2) 支援協議会を設け、居住学生のサポート体制や地域貢献の方法などを検討していきます。

（事務担当は、都市部まちなみ景観課企画担当 直通 046-822-9855）

別図

